

## こんな工夫も

### テーブル型 (スイカ)

- 幅1mの平うね、株間80~100cmの2条植え
- 骨格は幅70cm、受け棚の高さ100cm
- ツルは4本仕立て。そのうち2~3本に結実させる
- 上からネットで囲えばカラスなどの鳥害からも守れる

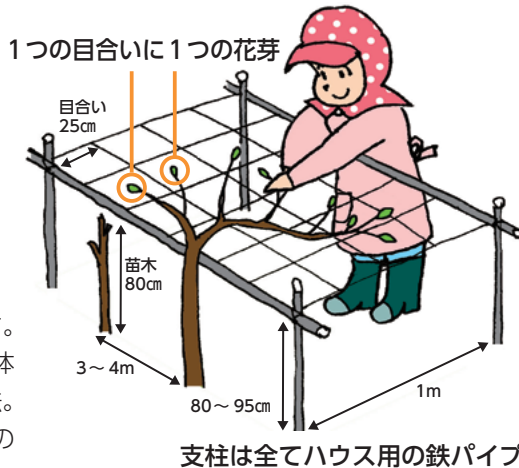


狭い場所でも栽培できるようになる

### テーブル型 (カキ)

- 幅はまん中に自分の手が届く程度で1つの目合いに1つの花芽
- ネットはひじの高さくらい
- ネットの目合い1つに花芽を1~2個以上配置
- 苗木を植えた年は80cmぐらいで切って枝を伸ばす

※キウイフルーツ、ブドウなどにも使えます。樹の伸びにあわせるのではなく、自分の体型や思いに合わせてできる果樹の栽培法。うね幅、株間、高さなどはあくまで自分の作業しやすいサイズに設定できます。

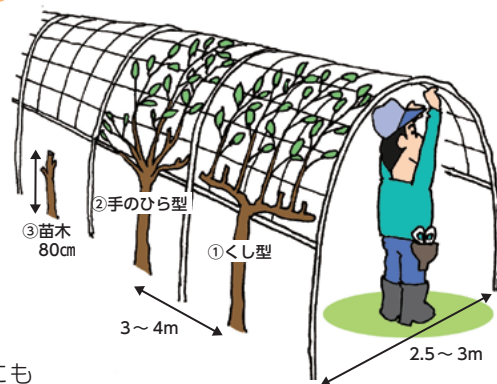


誰でも簡単に果樹栽培に取り組める

### トンネル型 (ナシなど)

- トンネルの内と外の両側から作業ができる
- 高さは背筋を伸ばして歩ける程度
- 結果枝の配置は①くし型②手のひら型どちらでもよい
- 苗木を植えた年は80cmぐらいで切って枝を伸ばす

※もっとコンパクトにすればカボチャにも使えます。



資材費は反当5万~10万程度。支柱のパイプに廃材を活用すればもっと安価に

### 竹マルチ (サツマイモなど)

竹をうねに並べてマルチに。サルやイノシシもこれなら手も足も出せません。

- 植えるときは竹の隙間から苗を挿すだけ。収量は変わらない
- 耕耘後のうねに竹を並べる。針金などで竹同士を固定しておくといノシシによる掘上げを防ぐことができる



## 3 柵で守る、追い払う

### 1) 柵で守る

イノシシ、シカ……。獣による柵破りの基本は、跳び越える、押し倒すでもなく、**すきあらば「地際をくぐり抜ける」**ことです。敵の特徴にあわせて柵を設置することが重要です。そして一度設置した柵は **きちんとメンテナンス** をして、効果を持続させていくことが大切です。

(詳しくは→11ページ~15ページを参照)



電気柵 → 11~12ページへ



ワイヤーメッシュ → 12~13ページへ



トタン柵 → 14ページへ

### 2) 追い払う

とにかく人慣れをさせない、「人は怖い」「人は敵だ」と思わせることが重要です。

根気よく地域の関係プレーで追い払いましょう。大きな音など自分でできる工夫をしましょう。

※イノシシに出会った時は、ゆっくり後退し離れ、静かに立ち去るなど、イノシシを刺激しないようにしましょう (イノシシが興奮すると危険です)。



## 4 捕獲

それでも被害が減らない場合には、捕獲します。

効果的な捕獲は、「山の10頭より里の1頭」を心がけてください。

実際に被害を引き起こしている個体でないとなれば被害は減りません。

### 山の10頭より 里の1頭を

#### 山のイノシシ (非加害群)

山林の食べものだけで暮らしているイノシシ。彼らを獲っても被害は減らない。

#### 里のイノシシ (加害群=捕獲対象)

主な生活の場は山林だが、農地の作物を食べることを覚えてしまったイノシシ。人間への警戒心はまだ持っているため、農地や住宅地に出没するのは夜間。



### 群れごと捕獲することが原則

「ウリ坊だけ獲れた」「親は逃がした」ということになると、その親はワナへの警戒心が強くなり、ワナにかからなくなってしまいます。